

IV現代に生きる人間の倫理		
第1章 理性への信頼と人間の尊厳		
1.ルネサンス		
14世紀のイタリアにはじまり、16世紀までにヨーロッパ各地に広まったギリシア・ローマの古典文化復興運動を何というか。		ルネサンス
ヨーロッパ中世の文学・哲学・神学などを統合するとともに、イタリア・ルネサンスの先駆ともなったフィレンツェの詩人は誰か。		ダンテ
地獄・煉獄・天国の三世界を巡って魂が浄化されるようすを描いた彼の代表作を何というか。		『神曲』
ギリシア・ローマの古典復興の先駆となり、『カンツォニエーレ』の作者で知られる人文主義者は誰か。		ペトラルカ
ペストの流行を契機として、人間のありのままの姿を肯定し、それを作品に残したトスカナの文学者・人文主義者は誰か。		ボッカチオ
10人の男女が10日間に一つずつ話をするという形式で100の話がつづられている彼の代表作は何というか。		『デカメロン』
ギリシア・ローマの古典の中に人間性尊重の思想を認め、中世的人間観からの解放を求めた思想を何というか。		ヒューマニズム (人文主義)
人間性の解放を求める運動は、人間の可能性をも信じ、多彩な分野で能力を発揮する人間を理想としたが、このような人間像を何というか。		万能人(普遍人)
『モナリザ』や『以後の晩餐』などの芸術作品だけではなく、解剖学や建築学にまで業績を残したルネサンス期の代表的万能人は誰か。		レオナルド＝ダ＝ヴィンチ
『ダビデ像』やサン＝ピエトロ大聖堂の設計など、彫刻・絵画・建築など多方面で活躍したルネサンス期の天才は誰か。		ミケランジェロ
貝の中から誕生する美の女神を描いたボチチェリの代表作を何というか。		『ヴィーナス誕生』
肖像画や聖母子像のほか『アテネの学堂』などで知られるルネサンス期の天才画家は誰か。		ラファエロ
世界を天界・人間界・動物界に分け、人間はいずれの世界へも行くことができると説いた、代表的な人文主義者は誰か。		ピコ＝デラ＝ミランダ
人間の尊厳は神の世界に行くことも動物となることもできる自由意志にあることを説いた彼の演説草稿は何というか。		『人間の尊厳について』
ギリシア・ローマの古典に精通し、硬直化したカトリック教会を痛烈に批判してルターに影響を与えたオランダの人文主義者は誰か。		エラスムス
世界は愚かな女神に支配されているとして、当時の知識人に痛烈な皮肉を浴びせかけた彼の著書は何というか。		『愚神礼賛』
社会不安を生み出していた困い込み運動を批判し、あるべき社会の姿を描いたイギリスのヘンリ8世の大法官であり人文主義者であった人物は誰か。		トマス＝モア
私有財産制度のない平等で平和な「どこにもない」理想社会を描いた彼の代表作は何というか。		『ユートピア』
混乱するイタリア統一のために、あるべき君主権を求めて近代政治学の端緒を開いたフィレンツェの政治家・歴史家は誰か。		マキアヴェリ
君主は権力の獲得・維持のためには手段を選ぶことなく、権謀術数の限りをつくすべきだとした彼の著作は何というか。		『君主論』
2.宗教改革		
16世紀のヨーロッパに広がった、ローマ＝カトリックの腐敗と墮落に対する批判と改革の運動を何というか。		宗教改革
ローマ教皇が地上におけるキリストの代理者であることを認めるキリスト教の一派を何というか。		ローマ＝カトリック
サン＝ピエトロ大聖堂改修工事のため、ローマ＝カトリック教会が発行した罪の免除を認める証書を何というか。		贖宥状(免罪符)
ローマ教会が発行した罪を免じる証書に疑問を投げかけ、宗教改革の発端をつくりだしたドイツの神学者は誰か。		ルター

「キリスト者はすべてのものの上に立つ自由な主人であって、何人にも従属しない」ということばで知られる彼の著書は何というか。		『キリスト者の自由』
1517年、ヴィッテンベルク大学付属教会の扉に彼が貼り出した贖宥状に対する意見書を何というか。		『95か条の論題(意見書)』
パウロの考えを継承し、人は福音を信じることによるのみ義とされるというルターの説を何というか。		信仰義認説
キリスト教の原点は、ただただ神の福音を信じるだけだという彼のことばを何というか。		信仰のみ
信仰のよりどころを教会や僧侶といった外的権威に求めるのではなく、神のことばが記されている聖書にのみ求める立場を何というか。		聖書中心主義
信仰においてすべての人は神と向かい合うのであり、その意味では誰もが神に仕えるものであるというルターの考えを何というか。		万人司祭説
祖国フランスを追われ、ジュネーヴに入って改革を断行し、神の権威に基づく政治体制を確立した改革者は誰か。		カルヴァン
この世のすべては絶対的権威を持つ神によって決定されているという考えを展開した彼の著書は何というか。		『キリスト教綱要』
人間の運命や救いは人間の働きかけと関係なく、すでに神によってあらかじめ定められているというカルヴァンの説を何というか。		予定説
神に召されて新しい使命や仕事に就くことを何というか。		召命
各人の職業は神がその人を召して就かせたものであるという、ルターにもカルヴァンにも見られる職業観を何というか。		職業召命観
福音主義・予定説・厳格な規律など、カルヴァンの思想に基づく宗教的立場を何というか。		カルヴァン主義 (カルヴィニズム)
イギリス国教会の改革を不満とする、イギリスにおけるカルヴァン主義を何というか。		ピューリタニズム
狭義には「信仰のみによる救い」、「聖書中心主義」、「個人として神の前に立つこと」を思想的特徴とする人々で、広義にはローマ＝カトリックへの反発を抱く人々を何というか。		プロテスタント
プロテスタンティズム、とくにカルヴァン主義の勤勉・儉約という特性が、資本主義の精神的特性を形成していると指摘した、ウェーバーの著書は何というか。		『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
教皇に対する絶対的服従と厳格な規律によって海外布教をはかるため、16世紀のスペインに設立されたローマ＝カトリック教会の伝道集団を何というか。		イエズス会
ザビエルたちと上記集団を設立したスペインの貴族は誰か。		イグナティウス＝ロヨラ
3.モラリスト		
16～18世紀にかけて、日常生活の中で鋭い人間観察と内省とによって人間の生き方を探求したフランスの思想家たちを何というか。		モラリスト
ボルドー市の評議員を務めるかたわら、読書と内省の生活の中で著述活動を行った16世紀のフランスのモラリストは誰か。		モンテーニュ
人間理性や宗教など、人間に関するさまざまな問題を自己吟味も合せて考察した彼の随筆を何というか。		『エッセー(随想録)』
スコラの知識の独断を批判しつつ、自らの知をも振り返ったモンテーニュのことばを何というか。		「ク・セ・ジュ(私は何を知っているか)」
一般には真理の絶対性を疑問視することであるが、スコラ哲学の独断に対するモンテーニュの立場を意味することばは何というか。		懐疑論
宗教の世界において、自らが信じている宗教以外の宗教を信じている人を受け入れ、差別や迫害を加えないことを何というか。		寛容

自然科学者としての目と敬虔なキリスト教徒としての目でもって宇宙と人間を見つめた、17世紀のフランスのモラリストは誰か。		パスカル
新しい科学的自然観とキリスト教的真理との間の矛盾の中で、揺れ動く人間の心と信仰の問題をつづった彼の随筆集を何というか。		『パンセ（瞑想録）』
偉大と悲惨、無限と虚無との間を揺れ動く人間のあり方をパスカルは何というか。		中間者
人間は宇宙に比べれば弱く小さな存在ではあるが、自らの卑小さと悲惨さを自覚するがゆえに偉大なのだということを語ったパスカルのことばは何というか。		考える葦
自らの有限性から目をそらし、日常性の中に逃げ込むことをパスカルは何というか。		気晴らし
厳密な推理による論理的思考力を特質とする学問的精神を何というか。		幾何学的精神
文学や芸術や宗教に関わるような、直感や感性を特質とする精神を何というか。		繊細の精神
第2章 科学的精神と人間		
1.近代科学の誕生		
17～18世紀、近代科学の諸分野に大きな影響を与えることになった、科学的方法の確立と知識体系の基礎づけを総称して何というか。		科学革命
ヘレニズム期のプトレマイオスによって体系づけられた、地球の周りを天体が回転しているという中世の宇宙観を何というか。		天動説
上記の考えを批判し、地球が太陽の周りを周期的に回転しているという説を何というか。		地動説
『天球の回転について』によって、地動説を提唱したポーランドの天文学者は誰か。		コペルニクス
コペルニクスの説を支持し、神と宇宙とは無限であることで一つであると主張し、火刑となった人物は誰か。		ブルーノ
惑星は太陽の周りを一定の法則で回転していると主張したドイツの天文学者は誰か。		ケプラー
落体の法則や慣性の法則などを発見するとともに、望遠鏡で地動説の正しさを証明した天文学者は誰か。		ガリレイ
彼が異端審問所に喚問されることになった、地動説の正しさを説いた対話形式の著書は何というか。		『天文対話』
先行の天文学・力学を集大成して古典物理学を確立した、イギリスの物理学者・数学者は誰か。		ニュートン
光学・力学および万有引力の法則について書かれた、古典力学に関する彼の代表作は何というか。		『プリンキピア』
2.経験論哲学		
知識や認識の起源は経験にあるとみなす哲学上の立場を何というか。		経験論
スコラ哲学を批判して実験と観察に基づく科学的知識を重んじ、そのための方法を確立したイギリス経験論の祖は誰か。		ベーコン
科学的知識確立のために、先入観の排除や学問の方法について記された彼の著書を何というか。		『ノヴム＝オルガヌム』
科学技術がもたらす理想社会を描いた彼の作品は何というか。		『ニュー＝アトランティス』
ベーコンが人間の認識を妨げる先入見・偏見という意味で用いた、偶像という原意を持つラテン語を何というか。		イドラ
自然の擬人化や錯覚のように、人間に固有の先入見を何というか。		種族のイドラ
個人の生い立ちや性癖や好みなどから生まれる先入見を何というか。		洞窟のイドラ
言語の不完全さや不適切な使用によって生まれる先入見を何というか。		市場のイドラ
権威ある学説を無批判に受け入れることからくる先入見を何というか。		劇場のイドラ
組織だてられた実験・観察によって事実を集積し、そこから法則・原理を導き出す学問の方法を何というか。		帰納法

実験と観察に基づく知識は、自然を征服する力であるという意味のベーコンのことばは何というか。		「知は力なり」
経験論哲学者ロックのいう、何の観念も記されていない生まれつきの精神の状態を何というか。		タブラ＝ラサ
物質は客観的に存在するのではなく、知覚されてこそ存在すると考えた、アイルランドの哲学者は誰か。		バークリー
精神は「知覚の束」にすぎないと考え、物質的存在だけではなく精神的存在も否定した、イギリスの哲学者は誰か。		ヒューム
3.合理論哲学		
知識や認識の起源を人間に生まれついて備わっている理性に求める、哲学上の立場を何というか。		合理論
スコラ哲学を批判して新たな学問の方法を確立するとともに、近代的自我の発見をももたらした、大陸合理論の祖は誰か。		デカルト
学問の方法と形而上学・自然学の基礎を論じた彼の著書を何というか。		『方法序説』
神と精神の存在証明および物心二元論を論じた彼の著書を何というか。		『省察』
理性と同義語で、デカルトが誰にでも「公平に配分されている」という、真偽を判別する能力のことを何というか。		良識
疑うことのできない真理を発見するために、方法としていっさいを疑ってみることを何というか。		方法的懐疑
すべてを疑ってみても、疑いつつある自分は確実に存在しているという、デカルトの哲学の第一原理を何というか。		「コギト＝エルゴ＝スム（われ思う、ゆえにわれ在り）」
一般的な原理を前提として、そこから推論によって論理的に結論を導く学問の方法を何というか。		演繹法
思惟を属性とする精神と、延長を属性とする物体とは異なる原理に基づく実体と考える思想を何というか。		物心二元論
自然現象は物体とその運動からなり、その法則は機械的・数学的な因果関係によって説明できるという、目的論的自然観と対比される考えを何というか。		機械論的自然観
自らの存在を神を根拠とせず、自分を自分と認識する意識主体にほかならないとする、デカルトによって発見された自我を何というか。		近代的自我
デカルトが能動的精神に対して受動的精神と呼んだ、驚きや憎しみや欲望などを総称して何というか。		情念
良識によって情念を統御した、自由で気高い精神のあり方をデカルトは何というか。		高邁の精神
精神と物体とは二つの実体ではなく、ともに唯一の実体である神の属性にすぎないと考えた、オランダの哲学者は誰か。		スピノザ
神は唯一絶対の実体であり、自然即神であるという汎神論を展開した彼の主著を何というか。		『エチカ』
宇宙は生命的なはたらきによる調和の中にあるという論を展開した、ドイツの哲学者は誰か。		ライプニッツ
宇宙を構成するのは不可分で空間的広がりを持たないモナドであり、その相互関係によって宇宙は調和を保っていると説く、彼の主著を何というか。		『单子論（モナドロジー）』
第3章 近代民主主義と人権		
1.自然法と社会契約説		
16～18世紀のヨーロッパに現れた、絶大な権力を侍った君主による中央集権的な政治形態を何というか。		絶対主義
王の権力は神から授かったものであり、王による国家統治は正当であるという政治思想を何というか。		王権神授説
17～18世紀のヨーロッパ各国におこった、絶対王制打倒のための政治変革を何というか。		市民革命
1642年、チャールズ1世の暴政に対して、クロムウェルを指導者としておこ		ピューリタン

された革命を何というか。		(清教徒)革命
ジェームズ2世の専制とそのカトリック政策に反対して、1688年に行われた革命を何というか。		名誉革命
人間の本性である理性に根拠をおく普遍的な法で、絶対王政批判の理論的武器となった概念を何というか。		自然法
上記の法を基礎として、歴史的・人為的に定められた具体的な法を何というか。		実定法
自然法を一般の法体系の上に基礎づけようとした、「近代自然法の祖」「国際法の父」と呼ばれるオランダの法学者は誰か。		グロティウス
ドイツ三十年戦争の反省から生まれた、国際法に関する彼の著書を何というか。		『戦争と平和の法』
条約・協定など国家間の約束事や取り決めのことを何というか。		国際法
自然法思想を背景として、国家や社会の成立を個人の自由意志に基づく相互契約におく思想を何というか。		社会契約説
社会契約説によって想定される、国家や社会が成立する以前の状態を何というか。		自然状態
上記の状態の人間が有していたとされる権利のことで、現代の基本的人権に相当する権利を何というか。		自然権
2. ホッブズ思想		
自然法思想を基礎に社会契約説による国家の成立を論じ、自然権の譲渡と王権の絶対性を説いて専制君主国家の存在を認めたイギリスの思想家は誰か。		ホッブズ
自分の生命を維持・保存しようとする中で、ホッブズによって自然権とされた権利を何というか。		自己保存
能力において平等に作られている人間が、共通の権力の存在しない自然状態において、自己の権利を守ろうとして陥る状態をホッブズは何と表現したか。		「万人の万人に対する闘争」
上記のことと同じ意味を待つ、互いが互いを自分が生き残るための餌とみなすことばを何というか。		「人間は人間に対して狼である」
自然状態の混乱を收拾するために、各人が国家に自然権をすべて引き渡すことを何というか。		権利の譲渡
すべての権利を譲り渡された国家は、強大な権力を持つ怪物となるが、ホッブズの著書の書名ともなっているこの怪物を何というか。		リヴァイアサン
君主が絶対的な権力を持ち、独裁的な政治が行われている政治体制を何というか。		専制君主制
3. ロック思想		
イギリス経験論の先駆者であり、認識論においては精神白紙説を唱え、政治論においては社会契約説によって名誉革命を支持したイギリスの思想家は誰か。		ロック
王権神授説を批判し、社会契約説を展開した彼の名著は何というか。		『統治論(統治二論)』
生得観念を否定し、すべての認識は感覚的経験から生まれることを説いた彼の著書を何というか。		『人間悟性論』
自然状態においてロックが想定した三つの権利は何というか。		生命・財産(所有)・自由
自由意志に基づく契約によって成立した政府が、人々の信任を得て自然権を委ねられることを何というか。		権利の信託(委託)
国家の意志決定権は国民にあるということを何というか。		主権在民
国民に国家の意志決定権を委ねるために、ロックが議会に認めた権力は何というか。		立法権
権力の分立が民主的な国家運営につながると考えたロックが、国王に認めた行政と外交に関する権力をそれぞれ何というか。		執行権・連合権
国民の信頼に反して政府が権力を乱用するとき自然権の信託を破棄して政治		抵抗権(革命権)

体制を変更できる権利のことを何というか。		
議会在制定した憲法や法律に従って、君主が主権者として政治を行う政治体制を何というか。		立憲君主制
ロックの思想を反映して公布された、近代自由権の集大成といわれるフランス革命期の権利宣言を何というか		フランス人権宣言
ロックの抵抗権の思想を反映した、アメリカ独立革命期の宣言を何というか。		アメリカ独立宣言
4.フランス啓蒙主義思想		
フランス革命前の絶対王政下における多くの矛盾をかかえた社会体制を何というか。		アンシャン＝レジーム
無知に基づく因習や偏見などの不合理に理性の光を当て、人間の解放をはかろうとする、17世紀末から18世紀にかけての思想潮流を何というか。		啓蒙思想
ロックの影響を受け、国家権力を独立の機関に分散することを説いたフランスの啓蒙思想家は誰か。		モンテスキュー
権力の分散と独立について書かれた彼の主著は何というか。		『法の精神』
立法・行政・司法の三つの権力を独立の機関に分散することを何というか。		三権分立
自然科学的な知見に立って、宗教的不寛容や学問的独断を厳しく批判した、フランスの代表的啓蒙思想家は誰か。		ヴォルテール
政治や宗教の自由、科学的精神の重要性を説いてフランス社会の現実を批判した彼の主著を何というか。		『哲学書簡』
異端迫害の冤罪事件にかかわって、宗教的寛容の重要性を説いた彼の著書を何というか。		『寛容論』
広範な分野の学問・技術・芸術に関する知識を集めたフランス啓蒙期の百科事典を何というか。		『百科全書』
唯物論的立場から無神論を説いて投獄されるが、生涯を上記の事典の編纂にささげた思想家は誰か。		ディドロ
5.ルソーの思想		
文明の社会悪を批判し、自然状態にあった自由で平等な社会を理想として、独白の社会契約説を展開したフランス啓蒙期の思想家は誰か。		ルソー
文明社会における暴力と不平等が、私有財産制度の発生に原因があることを論じた彼の著書を何というか。		『人間不平等起源論』
社会全体の福祉を実現するために、市民相互の平等な自由意志によって契約を結び国家を成立させるという考えを述べた、彼の代表的著書は何というか。		『社会契約論』
ルソーが、自然状態において人間が持っている基本的な二つの感情と考えたものをそれぞれ何というか。		自愛と憐れみ
ルソーが、自由で平等な自然の理想状態に帰ることを求めたことばを何というか。		「自然に帰れ」
人間が自然状態で持っていたとされる自由を何というか。		自然的自由
上記の自由を捨てて、契約によって獲得する自由を何というか。		市民的(社会的)自由
個人的な欲求を満たそうとする意志のことを何というか。		特殊意志
個人的欲求を集めて、人数的に多数の人々の欲求となった意志を何というか。		全体意志
つねに社会全体の福祉や幸福をめざそうとする意志のことを何というか。		一般意志
分割・譲渡できない一般意志に基づいて、主権者である一般市民が直接に政治に参加する政治制度を何というか。		直接民主制
現代では国民主権といわれることばは、ルソーの思想では何というか。		人民主権
自由・平等・博愛の理念を掲げ、絶対王制打倒をめざして行われた、1789年の革命を何というか。		フランス革命
6.新しい社会契約論		
功利主義に取って代わるべき実質的な社会正義の原理を、社会契約論の仮説を用いて求めた、現代アメリカの哲学者は誰か。		ロールズ

原初状態」という社会契約説における自然状態を仮定し、自由で平等な人格者たちの一致による正義という理論を展開した、彼の代表作を何というか。		『正義論』
正義とは社会において自由や富を公平に配分することだとする、ロールズの正義のとらえ方を何というか。		公平としての正義
すべての人が平等に自由であるという原理を、ロールズの正義論では何というか。		平等な自由の原理
競争や社会参加に関しては、すべての人に平等な機会が与えられなければならないという原理を、ロールズの正義論では何というか。		機会均等の原理
もっとも不利な立場にある人々の利益を最大にするためには、社会的・経済的な不平等も許されるという原理を、ロールズの正義論では何というか。		格差原理
第4章 近代民主社会の倫理		
1.カントの倫理学		
ドイツを中心に展開した、世界と人間のあり方を精神的な理念あるいは観念によって論じる、カントからヘーゲルに至るドイツ哲学の潮流を何というか。		ドイツ観念論 (理想主義)
経験論と合理論を批判的に統合するとともに、科学的認識と道徳的実践をも厳しく区別したドイツの哲学者は誰か。		カント
認識主観による対象の構成という考え方によって、経験論と合理論を統合した、彼の認識論における代表的著書を何というか。		『純粋理性批判』
理論的領域では限界を持つ理性が、実践の領域ではどのような意義を持つのかを検討した彼の著書を何というか。		『実践理性批判』
通俗的な道徳哲学に対して道徳の基本原則を確立し、『実践理性批判』の導入ともなった彼の著書を何というか。		『道徳形而上学原論』
理性による理性そのものへの批判を行った、カントの学問的立場あるいはその哲学を何というか。		批判主義(批判哲学)
因果関係によって生起する自然界の事物のみを対象とする、人間の認識能力のことをカントは何というか。		理論理性
原因と結果の間に見られる関係あるいは法則のことを何というか。		因果律(因果法則)
認識の対象は認識主観と独立に存在するのではなく、主観が有する先験的な認識の形式・枠組みが対象を構成するという、カントが行った認識上の一大転換を何というか。		コペルニクスの転回
人間が先験的に有する認識の形式あるいは枠組みのことを何というか。		カテゴリー
理論的認識を超えた行為の問題に関して、自ら法則を立てて自らの意志に命令をくだす理性のことを何というか。		実践理性
実践理性が自ら打ち立てる、あらゆる理性的存在者に普遍的に妥当する道徳上の法則あるいは規則のことを何というか。		道徳法則(道徳律)
「もし～ならば為せ」というような条件付きの命令で、条件に拘束されているので普遍性を待たず、道徳法則とはなりえない命令を何というか。		仮言命法(仮言命令)
「為すべし」という形式のみで、行為の具体的内容を持たないために普遍性を持つ無条件の命令を何というか。		定言命法(定言命令)
個人的な行為に関する信条が、誰にでも妥当する法則として成り立つように行為せよと命じる、カントの道徳法則原理を示すことばは何というか。		「汝の意志の格率が、常に同時に普遍的立法の原則として妥当しうるように行為せよ」
表面的には道徳的に見えるが、道徳法則に対する義務の念から行われたのではない行為の性格を何というか。		適法性
道徳法則に対する尊敬と義務の念から行われた行為の性格を何というか。		道徳性
「善いから行う」という、善への純粋な意欲を動機とする意志を何というか。		善意志
善なる意志に基づく行為を重視する考えで、道徳性の基準を行為の結果ではなく動機におく倫理的立場を何というか。		動機主義

人間の行為が道徳性を持つために必要とされるものは、徳法則に対する尊敬の念とあと一つは何というか。		義務
他者からの何の働きかけもなく、自らが打ち立てた行為の原則に自らが従うことを何というか。		自律
カント倫理学の中心概念である、自律的で自由な道徳的主体のことを何というか。		人格
自他の人格のうちにある人間性を、いつも同時に目的として扱うことを命じたカントの道徳法則のことばは何というか。		汝の人格や他のあらゆる人の人格のうちにある人間性を、常に同時に目的として扱い、決して手段としてのみ扱うことのないように行為せよ」
人々が相互の人格を目的とし合うような、理想的社会を何というか。		目的の王国
各人が互いを目的とする理想社会を国際社会にまで拡大し、国際平和機関の必要性を説いたカントの著書を何というか。		『永久平和論』
カントの理論理性と実践理性の二元論を批判的に統一し、認識主観である自我が客観的対象をも生み出すと説いたドイツの哲学者は誰か。		フィヒテ
すべての対立を超えた絶対者において、自然と精神の対立を統一しようとしたドイツの哲学者は誰か。		シェリング
2.ヘーゲルの人倫		
人間の本質を精神ととらえ、世界と歴史は精神が自己を展開していく場と過程であると考えた、ドイツ観念論哲学の大成者は誰か。		ヘーゲル
精神が感覚から絶対知に至るまでの過程を描いた彼の代表作を何というか。		『精神現象学』
社会的諸関係を自由な意志の自己展開という立場から体系化し、社会に関する学研を自然科学に比すべき学問にしようとした、彼の代表的著作を何というか。		『法の哲学』
存在するものが矛盾と対立の中で変化・発展していく法則のことを何というか。		弁証法
あるものが肯定され、次にそれを否定するものが生まれ、さらにこの両者がより高い次元で統合されるという上記の法則の発展過程の各段階を何というか。		正・反・合
上記の最後の段階で対立するものをより高次の次元で統合することを何というか。		止揚(アウフヘーベン)
自らを外化することで、主観的段階・客観的段階をへて自らに還帰する、すべての存在の原理をヘーゲルは何というか。		精神
存在するすべてのものの発展過程の全体を包括する絶対的存在者をヘーゲルは何というか。		絶対精神
上記の精神が歴史の中に自己を展開していくとき、その精神を何というか。		世界精神
自由の実現を本質とする精神が、主観的・内的なものとして現れる場合を何というか。		道徳
自由の実現を本質とする精神が、客観的・外的な強制力を持ったものとして現れる場合を何というか。		法
a 主観的・内的な自由である道徳と客観的・外的な自由である法とを、より高い次元で止揚した段階を何というか。		人倫
b 上記 a の段階の中で各人が個人としての自覚を待たず、愛情によって結ばれている集団を何というか。		家族
c 上記 a の段階の中で独立した個人が自己の欲望を満たすために、契約によって成立させた「欲望の体系」とでもいふべき集団を何というか。		市民社会

上記bとcとをより高い次元で統合して、自由を実現させる集団を何というか。		国家
3.功利主義の思想		
18世紀末のイギリスにはじまった、問屋制家内工業から機械制工業への発達にともなう、経済・社会上の大変革を何というか。		産業革命
自由主義経済の理論的基礎づけを行うとともに、『道徳感情論』によって道徳における感情の重要性を論じた、イギリス古典経済学派の学者は誰か。		アダム＝スミス
道徳的な善悪の評価を決める、人間相互に共有される感情を彼は何というか。		共感
自由な経済活動は価格を自動的に安定させるという、彼の考えを示すことばは何というか。		「見えざる手」
労働価値説と自由放任主義を説いた、彼の主著を何というか。		『国富論(諸国民の富)』
幸福や快樂をもたらすものは善であり、その反対は悪であるという、19世紀のイギリスで有力となった倫理・政治学説を何というか。		功利主義
人間は快樂を求め苦痛を避ける傾向性を持ち、その快苦も数量的に計算できると考え、独白の倫理学を説いたイギリスの哲学者・法学者は誰か。		ベンサム
功利主義の考えを立法に反映しようと著わされた彼の著書を何というか。		『道徳および立法の諸原理序論』
幸福とは快樂の増大あるいは苦痛の減少であり、快樂を増大させるものが善であるという原理・原則を何というか。		功利の原理
快樂や苦痛は量的に計算可能だとする功利主義の立場を何というか。		量的功利主義
快樂を一定の基準に基づいて数的に計算することを何というか。		快樂計算
快樂を計算する際の七つの基準はそれぞれ何というか。		強さ・持続性・確実性・遠近性・多産性・純粋性・範囲
快樂も限度を超えると苦痛となり、それが人間の行為に拘束を与えているが、この拘束を何というか。		制裁(サンクション)
上記の拘束のうち、のどの渇きをいやす水も飲みすぎると腹痛となるような場合を何というか。		自然的制裁
上記の拘束のうち、困っている人を見過ごしにしたときに叱責を受けるような場合を何というか。		道徳的制裁
上記の拘束のうち、法律を守らなかったときに罰を受けるような場合を何というか。		政治的制裁
上記の拘束のうち、神への信仰を失いかけたときに不安に襲われるような場合を何というか。		宗教的制裁
社会全体の幸福が最大となるのは、個々人の幸福の総計としての幸福が最大になるときに実現するというベンサムのことばは何というか。		「最大多数の最大幸福」
貧困が深刻化するイギリス社会にあって、ベンサムの量的功利主義を批判して快樂に質的差異のあることを主張した、イギリスの経済学者・哲学者は誰か。		J. S. ミル
功利主義の量から質への移行が語られている彼の代表作は何というか。		『功利主義』
個性を伸ばすことが幸福に結びつくと考え、そのための自由の大切さを説いた彼の著作を何というか。		『自由論』
快樂には高貴なものや低劣なものがあるとするとする点で、ミルの功利主義を何というか。		質的功利主義
量的に満たされなくとも質的に満たされていれば、そのほうが幸福であるとする、ミルの質的功利主義の立場を表明した有名なことばは何というか。		「満足した豚であるよりも、不満足な人間であるほうがよく、満足した愚者で

		あるよりは、不満足なソクラテスのほうがよい」
ベンサムが裁量に外的な側面が強かったのに対して、ミルが内的な制裁として重視したものは何というか。		良心
ミルが自らの功利主義の原理と考えた、ナザレのイエスの戒めを何というか。		黄金律
上記の戒めの内容は何というか。		「あなたが自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」
他者に迷惑や危害を与えない限り、人は何をしても自由であるという原則を何というか。		他者危害の原則
4.実証主義と進化論		
経験的に確認できる事実だけを学問的知識として認め、社会科学の発展に貢献した思想的立場を何というか。		実証主義
人間の知識の発達段階を神学的・形而上学的・実証的の三段階に分けるとともに、実証主義的な新しい学問としての社会学を提唱したフランスの社会学者は誰か。		コント
祖父や父の影響で生物・地学・動物学に関心を寄せ、「ビーグル号」による南米ガラパゴス島での観察から、生物進化の理論を導き出したイギリスの博物学者は誰か。		ダーウィン
生物の種は単純・下等なものから複雑・高等なものへと発展するという学説で、自然環境に適応できた種がその形質を子孫に伝えながら発展してきたという、自然淘汰説によって補強された理論を何というか。		進化論
社会を一種の有機体にとらえ、社会も単純な社会から複雑な社会へと進化していくという社会進化論を説いたイギリスの哲学者・社会学者は誰か。		スペンサー
5.プラグマティズムの思想		
アメリカ開拓時代に形成された、自由・独立・進取の気風などの精神的特質を何というか。		フロンティア精神
開拓時代のアメリカの精神的特質の一つであった、勤勉・儉約・博愛のキリスト教的精神を何というか。		ピューリタン精神
イギリス経験論や功利主義さらには進化論などとフロンティア精神やピューリタン精神を結びつけながら、実生活に有用な知識や学問を尊重しようとする、アメリカに生まれた思想を何というか。		プラグマティズム
行為や行動を意味するギリシア語を何というか。		プラグマ
実際の生活に役に立つ実用的な知識を求めようとする点から、この思想の日本諸訳は何というか。		実用主義
どのような学問や考えもそれだけでは重要ではなく、それがどれだけ役に立つのかを実験的に証明することで決まるとして、プラグマティズムの先駆者となった人物は誰か。		パース
科学的実験の二つの重要な要素で、実験・観察以前の仮の命題・学説と、それを実験・観察によって証明することをそれぞれ何というか。		仮説と検証
客観的事実よりも各人の生活にとって有用かどうかを学問や知識の基準におき、プラグマティズムをより発展させたアメリカの心理学者・哲学者は誰か。		ジェームズ
知識や思想が何らかの行動を生み、生活の中で役に立つことを意味する、彼の思想の概念を何というか。		真理の有用性
文学作品や思想家のエピソードなどによって、彼の思想を分かりやすく解説した書物を何というか。		『プラグマティズム』
プラグマティズムを民主主義思想と位置づけ、社会・教育などの多方面に影響を与えた、プラグマティズムの大成者は誰か。		デューイ
伝統的哲学を批判し、プラグマティズム思想を平易に解説した彼の代表的著		『哲学の改造』

書を何というか。		
民主主義を人々の連帯による共同経験の様式にとらえ、その様式獲得のための重要な役割を教育に求めた彼の著書を何というか。		『民主主義と教育』
i 人間が道具を発明し使用することで自然を開発し社会を発達させてきたように、知性やそれによって獲得された知識も、人間がよりよく環境に適応していくための道具であるという考えを何というか。		道具主義
人間は多くの困難や問題に遭遇しながら生きているが、そのようなときに既存の知識や理論を道具として用いながら、未来を展望して困難や問題を解決していく知性のあり方を何というか。		創造的知性(実験的知性)
児童・生徒に知識を獲得させるためには、実生活上での困難に直面させることによって、行動の中で学ばせなければならないとする学習理論を何というか。		問題解決学習
第5章 人間性の回復を求める思想		
1.社会主義の思想		
空想的社会主義		
生産手段の私的所有と経済活動の自由ならびに自由競争を原則とした社会・経済体制を何というか。		資本主義社会
個人の財産権や経済活動を制限し、生産手段の公的所有管理によって経済生活の計画化を行い、労働者階級の経済的平等をはかる思想を何というか。		社会主義
資本主義社会の矛盾を批判しながらも科学的解明を行わず、人道主義的立場からのみ問題の解決をはかろうとした初期の社会主義を何というか。		空想的社会主義
上記の社会主義を、社会主義的な作品であるトマス＝モアの著書にちなんで何というか。		ユートピア社会主義
スコットランドの紡績工場における労働条件の改善や工場法制定などに尽力したイギリスの社会主義者は誰か。		オーウェン
上記の紡績工場があったスコットランドの地名を何というか。		ニュー＝ラナーク
アメリカに彼が創設した理想的な自給的協同社会を何というか。		ニュー＝ハーモニー平等村
資本家・商人・労働者などの「産業人」の協同の上に成り立つ理想社会を説いたフランスの社会主義者は誰か。		サン＝シモン
フランス革命を経験する中で、資本主義の無政府性と諸矛盾を鋭く批判し、独自の理想社会を構想したフランスの社会主義者は誰か。		フーリエ
彼が構想した農村的協同組合を基礎とした理想社会を何というか。		ファランジュ
マルクスの科学的社会主義		
資本主義社会の構造と機能を科学的に分析し、労働者階級の歴史的使命と社会主義革命の必然性を説く社会主義を何というか。		科学的社会主義
資本主義社会の科学的分析と労働者の歴史的使命を明らかにし、プロレタリア革命の必然を論じたドイツの哲学者・経済学者は誰か。		マルクス
資本主義経済における生産・流通・分配のあり方を分析し、そこに労働の搾取を見だし、社会主義革命の道を探ろうとした彼の代表的著作を何というか。		『資本論』
経済的社会の成立時期を、アジア的・古代的・封建的・近代ブルジョア的な時期に区分けした彼の著書は何というか。		『経済学批判』
終生マルクスを援助し、彼とともに科学的社会主義の確立に貢献した経済学者は誰か。		エンゲルス
1848年の世界労働者大会において、階級闘争の歴史を明らかにして世界の労働者の団結を説いた、マルクスと彼との共同執筆の宣言を何というか。		『共産党宣言』
マルクス社会主義の思想を平明に分かりやすくつづった、彼の社会主義入門書を何というか。		『空想から科学へ』
人間が自己の本質を外化することで、そのことが人間から人間らしさを奪っていくことを何というか。		人間疎外

資本主義社会においては、人間の本质である労働力を商品化し、協働で成り式つ人間関係を対立させ、労働を苦痛なものとしてさせてしまっているが、このような状況を何というか。		労働の疎外
人間は孤立した存在ではなく、他者と結びつき協働しながら存在しているという、マルクスが語る人間存在のあり方を何というか。		類的存在
物質的生産活動という経済的基礎の上に法律や政治制度などが成立し、それが経済的变化に応じて歴史的に変遷していくという、マルクスとエンゲルスによって確立された歴史観・社会観を何というか。		唯物史観（史的唯物論）
それぞれの時代と社会における、政治体制や教育などの精神活動を規定する物質的基盤を何というか。		下部構造（土台）
上記の物質的基盤を構成する、生産手段と労働力の総和からなる社会的な生産能力のことを何というか。		生産力
上記の物質的基盤を構成する、生産のために取り結ばれる人間関係を何というか。		生産関係
物質的基盤に規定される政治や法律や教育などを総称して何というか。		上部構造
生産手段の所有者である階級（貴族・武士・資本家）と労働力の提供者である階級（奴隷・農民・労働者）との戦いを何というか。		階級闘争
資本主義社会において、自らの生産手段を持たず、自己の労働力を資本家に売ることによって生活を営んでいる階級のことを何というか。		プロレタリア（労働者）階級
マルクスが歴史の必然性として起こると予言した、労働者による資本主義社会を転覆させるための革命を何というか。		プロレタリア革命
社会主義を超え、階級も搾取もない理想社会をめざす思想・運動のことを何というか。		共産主義
労働力と結合して生産を可能にする、土地や機械や原材料などの生産に必要な手段を何というか。		生産手段
地や機械や原材料などと結合することで生産を可能にする、肉体的な力や技術あるいは知識などの労働に必要な力を総称して何というか。		労働力
マルクス＝レーニン主義		
マルクスとエンゲルスによって構築された社会主義理論を何というか。		マルクス主義
マルクスの理論とロシア革命を成功に導いたレーニンの革命理論を合せて何というか。		マルクス＝レーニン主義
第一次世界大戦中の 1917 年、帝政ロシアに起こった社会主義革命を何というか。		ロシア革命
マルクスの理論を学問の諸分野に適用・発展させると同時に、ロシア革命を成功に導いた思想家・革命家は誰か。		レーニン
国内的には独占企業が登場し、対外的には植民地獲得競争が行われる段階の資本主義を彼は何というか。		帝国主義
マルクス主義を指導原理としながら、共産主義社会体制の樹立と維持をめざす、プロレタリアートによって組織される政党を何というか。		共産党
中国を外国勢力から取り戻し、地方軍閥から民衆を解放し、さらに人々の生活を向上させることという原則を掲げて辛亥革命を指導した革命家は誰か。		孫文
彼が掲げた原則とは民族主義・民権主義・民生主義の三つであるが、この三つを総称して何というか。		三民主義
孫文の「三民主義」とマルクス＝レーニン主義を合せ、中国の社会主義革命を指導した思想家・政治家は誰か。		毛沢東
封建勢力の割拠と帝国主義国による植民地支配という中国の実情を踏まえ、まず反帝国主義・反封建主義の革命を成し遂げたあとに社会主義革命に向かうべきだとする彼の理論を何というか。		新民主主義
1985～90 年にかけて、ソヴィエト社会における経済・政治・文化面の改革に着手し、東欧世界およびソヴィエト連邦の崩壊の契機を生み出した、ソヴィエト連邦の最初で最後の大統領となった政治家は誰か。		ゴルバチョフ
1980 年初頭のソ連の経済改革に始まり、情報公開制度、政治的民主化など多		ペレストロイカ

方面にわたって彼が着手したソ連再建の改革運動を何というか。		
修正社会主義		
マルクス主義の唯物史観(史的唯物論)・軍事的革命・共産党一党独裁などを否定し、漸進的な社会改良によって社会主義を実現していこうとする立場を何というか。		修正社会主義
武力革命を否定し、議会制民主主義に基づく社会主義をめざそうとする、ドイツを中心とする思想潮流を何というか。		社会民主主義
唯物史観(史的唯物論)や武力革命を否定して非マルクス主義の立場を明確にし、労働者の知的・精神的向上による社会改革を説いたドイツの社会主義者は誰か。		ベルンシュタイン
1890年、社会主義労働者党を改称して成立したが、彼の理論によって革命色を希薄化させ、現代ドイツの主要政党となっている政党は何というか。		社会民主党
資本主義の弊害を議会制度の中で漸進的に改良してとうとする、イギリスの社会主義を何というか。		フェビアン社会主義
上記のような社会改良をめざして、1884年にロンドで結成された、ローマの将軍ファビウスにちなんだ名を持つ社会主義組織を何というか。		フェビアン協会
ユートピア社会主義に不満を抱き、土地と産業資本の社会的所有を唱えて上記協会を発足させた、シドニーとベアトリスの夫婦を何というか。		ウェップ夫妻
上記夫妻と知り合い、新たな社会主義運動の推進者となったイギリスの劇作家・評論家は誰か。		バーナード＝ショウ
フェビアン社会主義を基本とした、保守党とならぶイギリスの二大政党のうちの一つを何というか。		イギリス労働党
2.実存主義の思想		
キルケゴールの思想		
高度化した科学技術や巨大化した社会組織の中で、個性を喪失して日常性の中に埋没している人々に、主体性の回復と本来的自己の発見を説く現代思想を何というか。		実存主義
抽象的・一般的な人間に還元することのできない、「いまここ」に生きている具体的・個別的な人間の現実存在を何というか。		実存
父の神への裏切りと愛する人との婚約破棄を精神的な契機として、自らにとって生きるに値する価値を求めた、デンマークの哲学者で実存主義の先駆者でもある人物は誰か		キルケゴール
ヘーゲル哲学への批判とともに、二者択一的決断による主体的な生き方を文学的に語った彼の著書を何というか。		『あれかこれか』
人が死ぬということは精神的に死ぬことであり、それは結局、人間の罪に関わることであると論じた彼の著作を何というか。		『死に至る病』
人間が漠然と抱く不安から原罪の問題を論じた彼の著作を何というか。		『不安の概念』
母と兄弟の死という悲しみを慰めるべく、父に勧められて出かけたギーレイエへの旅の中で記された、彼の哲学的出発点ともなった手記を何というか。		『日記』
普遍的・一般的な真理ではなく、「私がそのために生き、そのために死ぬことを願うような」真理を何というか。		主体的真理
キルケゴールは、『日記』の中で上記の真理をどのように表現しているか。		「私にとって真理であるような真理」
意識にとらえられる対象でもなく、単なる認識主観でもなく、身体と意識を待って行為する個別的な人間としてのあり方を何というか。		主体性
人間がいきいきとした神との関係を持ちえていない状況、あるいはそのことに気づいていない状態で、これによって実存のあり方を変更していく契機となる精神の状態を何というか。		絶望
人間の生き方が絶望を契機として三つの段階をへて高められていくという、キルケゴールの実存のあり方に関する考えを何というか。		実存の三段階
人生を欲望のままに享乐的に送ろうとする段階を何というか。		美的実存

享樂的生活を捨て、人間としての善き生き方を求めるようになる段階を何と いうか。		倫理の実存
善き生き方の限界にぶつかって絶望し、自らが罪であることを自覚して、信 仰への飛躍を決意する段階を何と いうか。		宗教の実存
つねに自己を顧みながら真実の自己を求め、ついには自らが罪であることを 自覚して神の前に一人立つ主体的な人間を何と いうか。		単独者
ニーチェの思想		
ショーペンハウエル、ワグナーそしてブルクハルトなどの思想的影響の中 で、それらと自らのギリシア古典研究の成果を合せて独白の実存主義哲学を 生み出したドイツの哲学者は誰か。		ニーチェ
古代ペルシアの宗教家ゾロアスターの口を通して自らの思想を語った、彼の 代表的著作は何と いうか。		『ツァラトストラはこう語っ た』
永劫回帰と運命愛によるニヒリズムの克服を説いた彼の哲学的遺稿集を何と いうか。		『力への意志』
大地を超越した純粹精神や善そのものといった価値の独断主義に批判を加え た彼の著作を何と いうか。		『善悪の彼岸』
ペシミズムと「生への意志」を説いて、ニーチェやワグナーに影響を与えた ドイツの哲学者は誰か。		ショーペンハウ エル
19世紀末のヨーロッパをおおった享樂的・耽美的・官能的な社会的・文化的 風潮を何と いうか。		デカダンス
伝統的な宗教や道徳などがもはや意味を持たず、価値のないものとなること を何と いうか。		ニヒリズム
キリスト教を基礎とする伝統的価値が、もはや生命を失ってしまっていること を指摘したニーチェのことばは何と いうか。		「神は死んだ」
ヨーロッパ精神の根底にある、キリスト教の博愛・同情・従順といった弱者 の道徳をニーチェは何と いうか。		奴隷道徳
キリスト教道徳の根底にある、生命の根源から発する力強さにあふれた強者 に対して弱者がつねに抱き続ける憎悪のことをニーチェは何と いうか。		ルサンチマン
神は存在せず、世界は初めもなく終わりもなく、つねに目的もない無意味な 永遠の繰り返しにすぎないとする、ニーチェの思想を何と いうか。		永劫回帰(永遠 回帰)
キリスト教が説く款いや神の国を否定し、無意味さと苦悩にあふれる人生を 積極的に肯定して、それを生き抜いていこうとする情熱を何と いうか。		運命愛
ショーペンハウエルの消極的な「生への意志」に対して、勇気と決断でもって 自己を高めていこうとする人間の本源的な生命力そのものに基礎をおく意志 を何と いうか。		力への意志
現実に甘んじるラクダの精神を克服し、無意味な生を力強く肯定する獅子の 精神を持ち、さらには無限の価値創造に向かう小児の精神を持って、自己を つねに超克し続ける人間のことを何と いうか。		超人
ヤスパーズの思想		
ナチズムとの対決の中で、理性と愛と実存の問題を問いつけた精神科医・哲 学者は誰か。		ヤスパーズ
彼の基本的な哲学的テーマと哲学史が記されている大著を何と いうか。		『哲字』
「実存は理性によってのみ明らかとなる」という立場から書かれた彼の代表 作を何と いうか。		『理性と実存』
人間として変更することも回避することもできない状況のことを何と いうか。		限界状況
ヤスパーズが、不可避的状況として示している事例のそれぞれを何と いうか。		死・苦悩・罪・ 争い
不可避的状況の中で自らの限界を自覚したとき、人が出会う人間を超え包み 込む存在を何と いうか。		超越者(包括者)
不可避的な状況の中で、人は本当の自分を求め、ついには本来的自己にめざ		実存開明

めるが、この本来的自己の出現をヤスパーズは何というか。		
不可避的状况の中で超越者と出会うことで、真実の自己にめざめた者同士が取り結ぶ関係を何というか。		実存的交わり
相互に相手のことを思いやりつつも妥協はしないという、上記の交わりのあり方を何というか。		愛しながらの戦い
ハイデッガーの思想		
自然科学をはじめとする諸科学が、意識の対象となる世界を客観的世界として説明しようとするのに対して、世界を意識に現れるままに「記述」しようとするのが大切だとする学問を何というか。		現象学
上記の学問的立場を確立し、現代実存主義哲学に大きな影響を与えた哲学者は誰か。		フッサール
現代人は日常性に埋没して本来的自己を見失っていると指摘し、自らの有限性を先取りすることで本来的自己を取り戻すことができると説いた、ドイツの実存主義哲学者は誰か。		ハイデッガー
モノと人間と時間構造のそれぞれの存在の仕方に、日常的な関係とは別の関係を見だし、その中で人間の本来性を見つけることを提示した、彼の代表的著作を何というか。		『存在と時間』
他の存在物とは異なり、「いま・ここに・ある」自分のあり方を問いかけることのできる、人間固有のあり方を何というか。		現存在（ダーザイン）
人間は自らが世界を意識する以前に、世界の中に存在しているという、人間の根本的あり方のことを何というか。		世界-内-存在
この世のすべてのものの根底にある「存在」について気づかないだけではなく、考えることさえ忘れてしまっていることを何というか。		存在忘却
自分か何ものであるのかという自己了解を怠り、日常性の中に埋没して平均的・画一的な生き方に陥っている人間を、ハイデッガーは何というか。		ひと（ダス＝マン）
本来的自己を見失っているための漠然とした気分であり、自らの有限性や不完全性に気づくときに襲ってくる気分を何というか。		不安
人間は有限であり、いつかは死ななければならない運命を背負っているという意味で、このことを自覚することで本来的自己へと回帰する可能性が生まれるという、人間のあり方を何というか。		死への存在
サルトルの思想		
ナチス支配下のフランスでレジスタンス運動に加わり、その中で独自の实存哲学を構築していったフランスの実存主義哲学者は誰か。		サルトル
人間存在の分析を通して、人間の自由の根拠を探ろうとした彼の代表作は何というか。		『存在と無』
実存主義が人間の自由を求める思想であることを解説した彼の著書を何というか。		『実存主義はヒューマニズムである』
人間の本質が先にあるのではなく、人間はまず世界の中に投げ出され、その後には本来的な自分を創造していくのだという意味のサルトルのことばは何というか。		「実存は本質に先立つ」
自分という人間を作り出すために、つねに未来に向けて自己を投げ出していくことを何というか。		投企
人間は与えられた状況の中で、自らの選択と決断において自分という人間を創造していくしかないという意味のサルトルのことばを何というか。		「人間は自ら作るものにはほかならない」
自己の自由な選択と決断は、必然的に他者をも巻き込むがゆえに、責任をまぬがれることはできないという意味のサルトルのことばを何というか。		「人間は自由の刑に処せられている」
自己の自由は他者の生き方を拘束するがゆえに、自由には必然的に付随するとサルトルが考えたものは何というか。		責任

状況に拘束される人間は、同時に状況を変革しつつ人類の運命に積極的に関わっていくが、このような社会への参加あるいは状況参加のことをフランス語で何というか。		アンガージュ
サルトルの伴侶であり協働者であり、同時に女性問題について積極的に発言を行った実存主義哲学者は誰か。		ボーヴォワール
「ひとには女に生まれるのではなく、女になるのだ」ということばで始まる、女性の自立と自覚をうながした彼女の代表作を何というか。		『第二の性』
実存主義とは希望や意味を見いだせない現実を直視しながら生きていくことにほかならないと考え、サルトルの論敵となったフランスの作家・哲学者は誰か。		カミュ
無意味な労働を刑罰として科せられたギリシア神話の王の話を通して、現代の人々の状況を解き明かそうとした彼の代表作を何というか。		『シジフォスの神話』
人生は合理的に理解することはできず、意味も目的もない現実があるだけだという、彼の思想の基本概念を何というか。		不条理
第6章 現代への批判とヒューマニズム		
1.現代のヒューマニズム		
人間そのものに対する関心と愛情を抱き、それを抑圧するものから人間を解放しようとする、人間中心主義とも訳されている思想・運動を何というか。		ヒューマニズム
いかなる生命も傷つけないという原理を掲げ、インドの独立運動に生涯を捧げ、「マハトマ（偉大なる魂）」と呼ばれた思想家・政治指導者は誰か。		ガンディー
宇宙の「真理を把握する」という意味で、真理の把握によって民族の解放を求めたガンディーの政治闘争の理念を何というか。		サチャークラハ
すべての生命を一つと見る古代インドからあった思想で、生き物を傷つけたり殺したりしないということを意味することばを何というか。		アヒンサー(不殺生)
上記の思想の具体的実践で、いっさいの暴力を否定することによって、人権の擁護と民族の自立をはかろうとする運動原理を何というか。		非暴力
肉体的欲望の抑制および憎しみや怒りなどの激しいことばや感情の統御など、心身の浄化をはかろうとすることを意味するガンディーのことばを何というか。		ブラフマチャリヤー
対英非協力・不服従運動のスローガンで、自治独立を意味することばを何というか。		スワラージ
上記と同じスローガンの一つで、インド民族資本の欲求でもあった、国産品の愛用を意味することばを何というか。		スワデーシ
黒人の地位の向上と差別撤廃のために「私には夢がある」という演説を行い、非暴力主義を掲げて闘ったアメリカの牧師は誰か。		キング
黒人や少数民族が、教育・雇用・住居・選挙などの差別に抗議し、白人と同等の市民的権利を主張して行われた運動を何というか。		公民権運動
インドのカルカッタのスラムに「神の愛の宣教者会」を設立し、貧困やハンセン氏病や結核などに苦しむ人々の救済活動を行い、ノーベル平和賞を受けた修道女は誰か。		マザー＝テレサ
彼女たちがインドに建てた、路上にうち捨てられて死にゆく人々を収容してその最期を看取るための館、および路上生活の中で苦しむ子どもたちを収容する館を何というか。		「死を待つ人の家」・「子どもの家」
アフリカのランバレネで、独白の生命観に基づく医療活動とキリスト教伝道を行った、フランスの神学者・医師・思想家は誰か。		シュヴァイツァー
アフリカでの医療活動のかたわら、見聞したことをまとめた彼の著書を何というか。		『水と原生林のはざままで』
人間にとっての善とは、生命を維持し生きる力を促進することにあることを説いた彼の著書を何というか。		『文化と倫理』
命あるものすべてに対する神の愛を感じることで生まれ出る、生命へのかぎりない畏れと敬いの感情を何というか。		生命への畏敬
抑圧された人々の側に身をおくことで、他者の存在につねに共感を寄せ続けた、ユダヤ系フランス人の女性哲学者は誰か。		シモーヌ＝ヴェイユ

1940年、ポーランドから流入したユダヤ系難民のため、政府の許可なく日本通過のビザを発行し、彼らの命を救った旧日本政府リトアニア領事館の外交官は誰か。		杉原千畝
ナチスの迫害を逃れたオランダの隠れ家で、世界の人々が幸福を分かち合える日を夢見つつ、最期はアウシュビッツ収容所で死を迎えたユダヤの少女は誰か。		アンネ＝フランク
人間の自由を生命維持のための自由、ものを生産するための自由、公的な場における自由に分けて論じ、私的な世界から抜け出し、公的な場で人と人が話し合う自由を説いた、ユダヤ系ドイツ人の哲学者は誰か。		ハンナ＝アーレント
2.現代社会への批判		
精神分析学からの批判		
人間精神の無意識の領域を探求することを通して、人間の行動や病理現象を解明しようとする、フロイトにはじまる理論体系を何というか。		精神分析学
人間の意識に現れない無意識の領域を、夢や失敗行動を分析することで明らかにしようとした、オーストリアの心理学者・精神科医は誰か。		フロイト
人格を構成する精神領域の一つで、無意識の中に性衝動と攻撃衝動として蓄えられている、快楽追求を本質とするエネルギーを何というか。		イド(エス)
上記の本能的衝動が、外界の人々との接触によってしだいに意識化され、現実対応を本質とする精神領域となったものを何というか。		エゴ(自我)
両親の要求と禁止を内面化して形成された人格の構成要素の一つで、自我の監視的役割を果たす良心に相当する精神領域を何というか。		スーパーエゴ(超自我)
現在の意識に現れてこない心的内容のことで、ある種の混沌とした欲動・衝動によって構成されており、夢や失敗行動として表面化されるため、フロイトが神経症治療の上で重視した精神の領域を何というか。		無意識
無意識の構成要素のうち、心身における性的な欲動のことを何というか。		リビドー(性衝動)
晩年のフロイトは上記の衝動を二つに区分したが、そのうち「創造的な生の本能」のことを何というか。		エロス
上記のもう一つの衝動で、「破壊的な死の本能」のことを何というか。		タナトス
過去に何らかの原因によって心が傷ついたとき、それを無意識のうちに抑圧してしまったため、その傷を中心に生まれ出る複雑な感情を何というか。		コンプレックス
異性の親に対して抱くコンプレックスのうち、男児が母親への愛情の裏返しとして父親に憎しみや反感を抱くことを何というか。		エディプス＝コンプレックス
大きな恐怖や不安などの経験によって、心に深い傷を負ったとき、この傷がその後の生活に悪影響をおよぼすような症状を引き起こすことがあるが、この症状のことを何というか。		PTSD(心的外傷後ストレス障害)
フロイトの影響を受けて精神分析学の研究に入るが、リビドー論に関して意見を異にするようになり、独白の分析心理学を創始したスイスの心理学者は誰か。		ユング
フロイトのいう個人的無意識以外に、精神病患者の幻覚や妄想が古来の神話や伝説や昔話の基本的なパターンの上に成り立っていることに気づき、それが人類に共通する無意識だと考えたが、この人類共通の無意識を何というか。		集合的(普遍的)無意識
上記の無意識の中にあって、それ自体は意識化できないが、人類に共通する普遍的なイメージを生み出す基底となっているものを何というか。		元型
構造主義からの批判		
単に部品が組み合わされて完成するようなものではなく、一つの要素が変化すれば全体の仕組みが変化するような諸関係の総和のことを何というか。		構造
個別的な事象の背後にあって、それらを成り立たせている構造の発見や分析を行おうとする、現代フランス中心とする思想潮流を何というか。		構造主義
人間が持つ本来的な言語能力は、社会制度としての言語(ラング)と個人的な場面で実際に話されている言語(パロール)の相互依存関係において機能していると考えた、スイスの言語学者は誰か。		ソシュール

未開社会と文明社会とはそれぞれの社会と歴史があり、その意味と価値とは独自のものであるとして、それまでの西欧中心の歴史観・社会観を転換させたフランスの人類学者は誰か。		レヴィーストロー
未開地域の人々の思考は、近代の効率を求める「栽培化された思考」とは異なり、感性的な表現によって世界を構成しようとする思考であり、それ自体高い価値を持つものであると論じた彼の著書を何というか。		『野生の思考』
ブラジル奥地の調査をまとめる中で、失われた人間と自然との結びつきを文明治的に考察した彼の著書を何というか。		『悲しき熱帯』
理性的人間を中心とする均質な人間観に批判を加え、狂気と非理性の立場から新たな歴史認識を提示しようとしたフランスの構造主義哲学者は誰か。		フーコー
西欧社会が伝統的に抑圧してきた狂気の持つ創造力について考察した彼の著作は何というか。		『狂気の歴史』
近代合理主義が絶対化した理性に対して、公権力が抑圧し続けてきた、社会秩序から逸脱するような非合理・異常性を彼は何というか。		狂気
合理主義的・機能主義的思考を離れ、異質な要素や過去の思想なども取り入れて、重層的な発想によって行動しようとする芸術・文化・思想の潮流を何というか。		脱近代化（ポストモダン）
フランクフルト学派からの批判		
マルクス主義とフロイトの精神分析学およびアメリカ社会学を結合させながら、現代の人間の疎外状況克服のために理性の自己批判を主張する、ドイツのフランクフルト大学の社会研究所を中心とする思想家グループを何というか。		フランクフルト学派
近代理性の道具化を批判し、本来理性が持っている自由な批判力を取り戻すことを提唱した、フランクフルト学派の中心人物は誰か。		ホルクハイマー
自由と解放のための啓蒙的理性が個性を抑圧していく過程を記した、彼とアドルノの共著を何というか。		『啓蒙の弁証法』
ホルクハイマーとともに近代理性の批判を行うとともに、精神分析と世論調査の手法を用いて民衆の中にある潜在的ファシズムの危険性を研究した学者は誰か。		アドルノ
権力や権威には卑屈で服従的でありながら、無力な弱者に対しては傲慢で高圧的となる、ファシズムを支えた性格を彼は何というか。		権威主義的性格
人間もモノもすべてを管理の対象とし、文明や文化の生命を失わせて、科学・技術に隷属するだけの野蛮なものになり果ててしまった理性を何というか。		道具的理性
自らが管理と操作の道具になりさがっていることを自覚し、人間性を抑圧するものへの批判力を持つようになった理性を何というか。		批判的理性
アドルノとともにファシズムの研究を行い、現代人は多くの犠牲の上に獲得した自由の重みにあえいでいると指摘した、新フロイト派の心理学者は誰か。		フロム
歴史的に獲得してきた自由から逃れ、新たな依存を求めていると、現代人の心理を分析した彼の著書を何というか。		『自由からの逃走』
大衆を操作・管理する現代の情報社会に対処するために、抑圧のない自由なコミュニケーションの必要性を説いた、フランクフルト学派の哲学者は誰か。		ハーバーマス
個人の利害のためにある道具的理性に対して、日常生活の中で人々が理にかなったコミュニケーションを行うための理性を彼は何というか。		対話的理性(コミュニケーション的理性)
現代社会の画一的な管理の中で、批判的精神を失って現状に安住している人間を「一次元的人間」と呼んで批判したユダヤ系ドイツ人は誰か。		マルクーゼ
歴史は連続しながら進歩してゆくという従来の歴史哲学を批判し、歴史の中の個別的なものを検討することを通して近代人の自己批判として歴史を批判したユダヤ系ドイツ人は誰か。		ベンヤミン
その他の思想家からの批判		
宇宙に生まれた根源的な衝動を感じ取り、人類を同胞として受け入れるような「聞かれた道徳」を創造していかなければならないと説いたフランスの哲学		ベルグソン

者は誰か。		
創造的進化をもたらす根源的な生命の躍動を彼は何というか。		エラン＝ヴィタール
言語分析を通して、価値の問題や世界の全体像といった問題の無意味さを批判したイギリスの哲学者は誰か。		ヴィトゲンシュタイン
哲学上の諸問題に、言語の分析を通して接近しようとした哲学を何というか。		分析哲学
官僚組織の研究を通して、組織の中の人間はかけがえのない個人ではなく、代替可能な歯車になっていることを指摘したドイツの哲学者・社会学者は誰か。		M.ウェーバー
倫理的主体としての「私」が意味を持つためには、「他者」の重みを知らなければならないとして、近代的自我を中心とした倫理を批判したリトアニアの思想家は誰か。		レヴィナス
ハイデッガーの思想に欠けていた「他者」の問題を追究した彼の代表作は何というか。		『全体性と無限』
従来の哲学が多様なものを同一なるものへと統合する際に抑圧したり取り残してきたものを、再度呼び戻す脱構築を自らの哲学的作業と考えた、現代フランスの哲学者は誰か。		デリダ
主著『孤独な群衆』の中で、人間の社会的性格を何を自らの行動原理とするかによって分類し、自律的でやわらかな個人主義を求めたアメリカの社会学者は誰か。		リースマン
安定した社会の人々は伝統志向型、変化の激しい時代の人々は内部志向型であるのに対して、自らの行動基準を同時代の他者におこうとする現代人の社会的性格を彼は何というか。		他人志向型人間
科学上の一大変革は、科学的事実の積み上げによって起こるのではなく、その時代の知の枠組みの劇的な変換によって起こると主張した、アメリカの科学史家は誰か。		ターン
各時代の科学者や思想家が共通に理解しているものの見方、問題の立て方、問題の解き方といった知の枠組みのことを何というか。		パラダイム